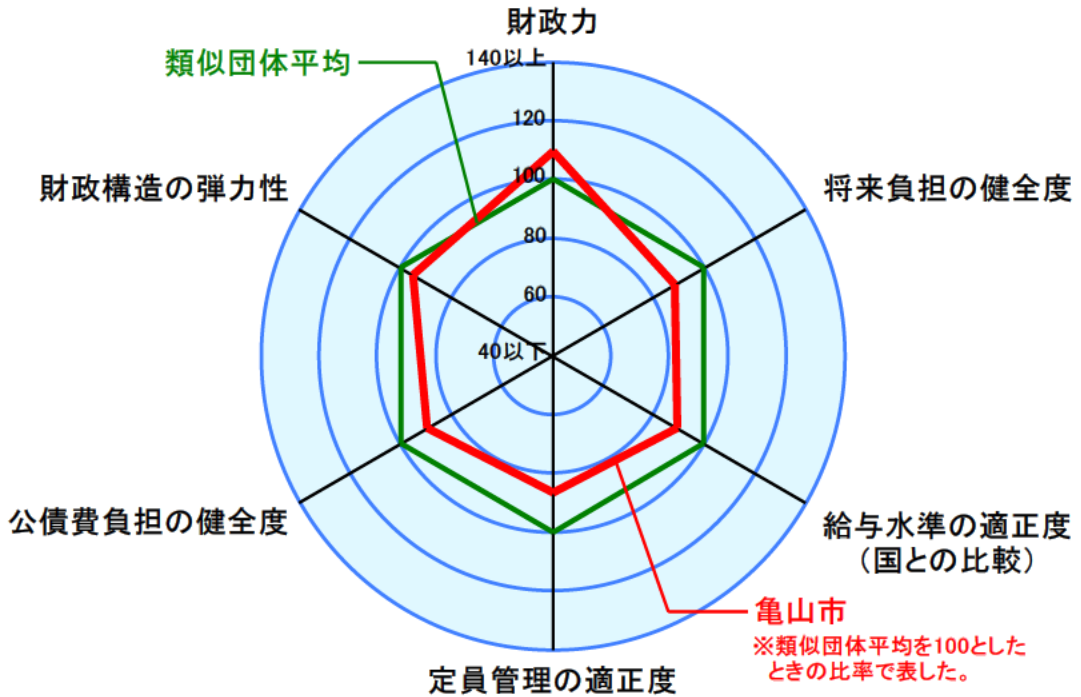
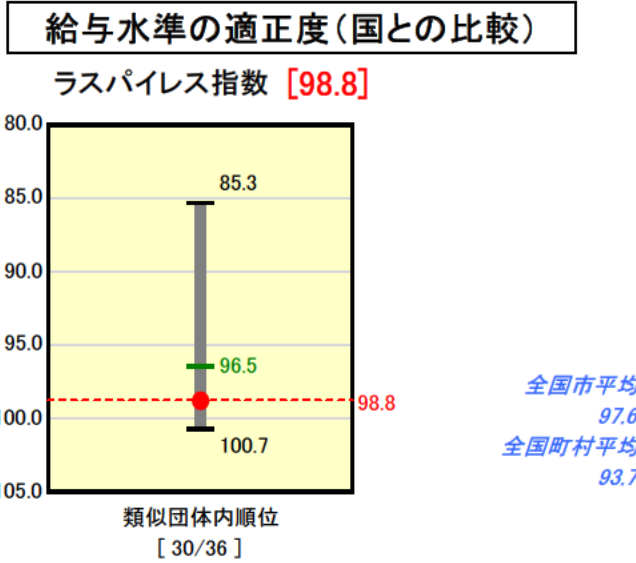
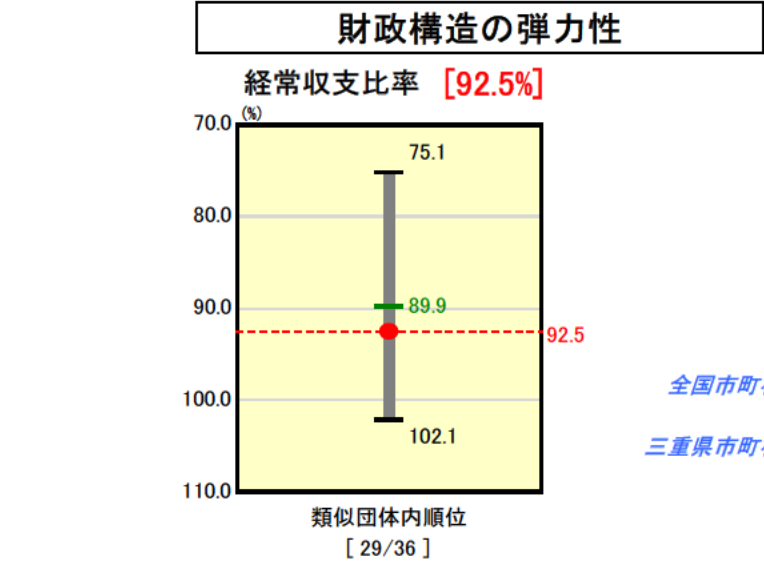
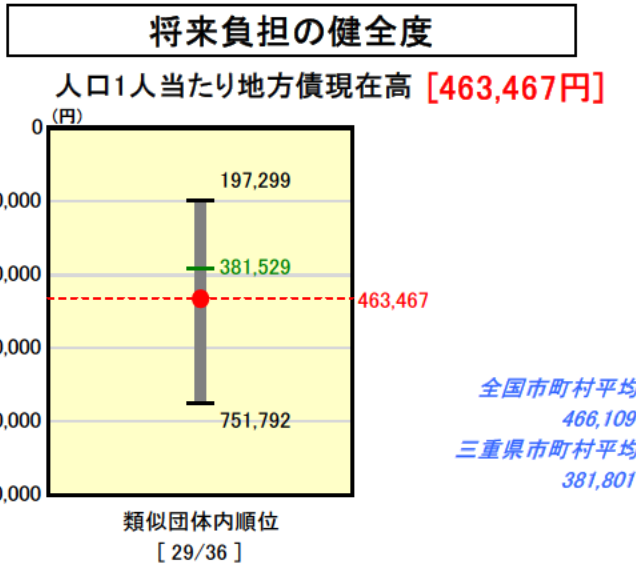
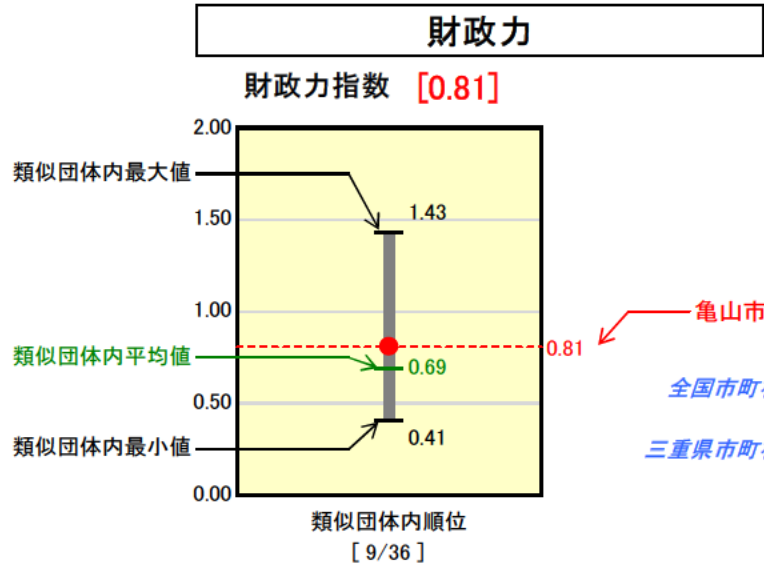


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 亀山市

人口	46,500人(H17.3.31現在)
面積	190.91 km ²
歳入総額	19,177,098千円
歳出総額	18,440,811千円
実質収支	451,956千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】 大型事業所の集中などによる安定的な税収があるため、指数0.81と類似団体平均値を上回っている。また、新規企業立地などにより、今後も税収増が見込まれ財政力指数は伸びることが予想されるが、合併後の新たなまちづくり事業などの財源も必要となることから、更なる企業誘致に努め、税収増加などによる自主財源の確保を図る。

【経常収支比率】 合併による人件費及び大型事業の実施により借り入れた市債の公債費などの増加により、92.5%と類似団体平均を上回っている。人件費については、職員を定員適正化計画(5年間で5%)により削減を行うとともに、公債費では対象事業を厳選し借入額の抑制に努める。

【起債制限比率・人口1人当たり地方債現在高】 近年実施した大型事業にかかる市債により、起債制限比率は11.8%、1人当たり現在高では46万3467円と類似団体平均を上回っている。今後、合併特例債など後年度において地方交付税へ算入される有利な地方債の活用を図るとともに、対象事業を厳選し借入額の抑制に努め各指数の上昇を抑える。

【ラスパイレス指数】 国との比較においては、年々減少しているものの、類似団体との比較においては上回っている。既に特殊勤務手当の大幅な見直しを実施しており、今後は給料表の構造を見直し、より職務・職責に応じた給料への転換を図る。

【人口1,000人当たり職員数】 平成17年1月に合併したことにより、類似団体平均を上回っているが、新市の定員適正化計画において事務事業の再編、民間委託等の推進により、平成17年4月から平成22年4月までの5年間で5% (23人) の職員を削減する。

